

一般国道 159 号二ツ屋北自転車歩行者道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書

かほく市

# 細滝神社遺跡

2017

石川県教育委員会

(公財)石川県埋蔵文化財センター

ほそたきじんじゃ  
細滝神社遺跡

2017

石川県教育委員会  
(公財)石川県埋蔵文化財センター

## 例 言

- 1 本遺跡は細滝神社遺跡の発掘調査報告書である。
- 2 遺跡の所在地は、石川県かほく市二ツ屋町地内である。
- 3 調査原因は、一般国道159号二ツ屋北自転車歩行者道整備事業で、同事業を所管する国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所が、石川県教育委員会に発掘調査を依頼したものである。
- 4 調査は、公益財団法人石川県埋蔵文化財センターが石川県教育委員会から委託を受けて、平成26年度に現地調査を、同27年度に出土品整理、同28年度に報告書作成・刊行を実施した。
- 5 調査に係る費用は、国土交通省金沢河川国道事務所が負担した。
- 6 現地調査の期間・面積・担当は下記のとおりである。
  - 期 間 平成26年10月7日～同年12月3日
  - 面 積 950㎡
  - 担 当 調査部県関係調査グループ
  - 担当者 澤辺利明（主幹）・瀧野勝利（専門員）・武部修一（専門員）
- 7 本書の執筆・編集は調査部参事三浦純夫が行った。
- 8 調査にあたって、かほく市教育委員会の協力を得た。
- 9 調査に関する記録と出土品は石川県埋蔵文化財センターで保管している。
- 10 本書についての凡例は下記のとおりである。
  - (1) 方位は座標北であり、座標は国土交通省告示の平面直角座標Ⅶ系に準拠した。
  - (2) 水平基準は海拔高であり、T.P.（東京湾平均海面）による。
  - (3) 遺物の報告番号は、挿図・観察表・写真図版で共通番号を用いている。
  - (4) 遺構の名称は、下記の通り略記号に算用数字を付して表記した。  
SI：竪穴状遺構、SK：土坑、SD：溝、P：柱穴・小穴、SX：その他・不明遺構

## 目 次

第1章 調査の経緯と経過 .....	1
第2章 遺跡の位置と環境 .....	3
第3章 遺構と遺物 .....	5
第4章 総 括 .....	16

## 図 版 目 次

図版第1 遺跡1	図版第4 遺構2
図版第2 遺跡2	図版第5 遺物
図版第3 遺跡3・遺構1	図版第6 遺物2

## 挿 図 目 次

第1図 調査箇所位置図 .....	2	第8図 遺構実測図2 .....	9
第2図 工事範囲と調査箇所 .....	2	第9図 出土遺物実測図1 .....	10
第3図 遺跡の位置 .....	3	第10図 出土遺物実測図2 .....	11
第4図 細滝神社遺跡と周辺の遺跡 .....	4	第11図 出土遺物実測図3 .....	12
第5図 調査区全体図 .....	6	第12図 出土遺物実測図4 .....	13
第6図 土層図 .....	7	第13図 出土遺物実測図5 .....	14
第7図 遺構実測図1 .....	8	第14図 「大海潟」・海岸砂丘と弥生・古墳時代の遺跡 .....	16

## 表 目 次

第1表 調査体制 .....	1	第3表 遺物観察表 .....	15
第2表 遺跡地名表 .....	4		

# 第1章 調査の経緯と経過

細滝神社遺跡の発掘調査は、国土交通省北陸地方整備局金沢河川国道事務所（以下、国交省）による一般国道159号二ツ屋北自転車歩行者道整備事業を要因とする。

平成26年7月28日付けで国交省から文化財保護法第94条第1項に基づく「土木工事等のための発掘通知」が提出された。これを受けて石川県教育委員会は同日付けで国交省に対して発掘調査等の埋蔵文化財保護措置が必要な旨通知した。

平成26年9月1日付けで国交省から石川県に発掘調査依頼があり、県教育委員会は同日付けで公益財団法人石川県埋蔵文化財センター（以下、埋文センター）に委託した。面積は950㎡である。現地調査期間は同年10月7日から12月3日で、埋文センターは12月3日付けで石川県教育委員会に完了届を提出した。

調査箇所は国道159号の両側で、国道に面して建っていた住宅の跡地である。砂丘地であり、最大約2mの盛土があることから遺構や法面の保護に細心の注意を払った。調査の結果、南半部で弥生時代後期の竪穴建物を検出した。遺物は細砂に含まれていたため遺存状態は良好であった。北半部は浸食や削平を受けているようで、生活面や包含層は確認できなかった。

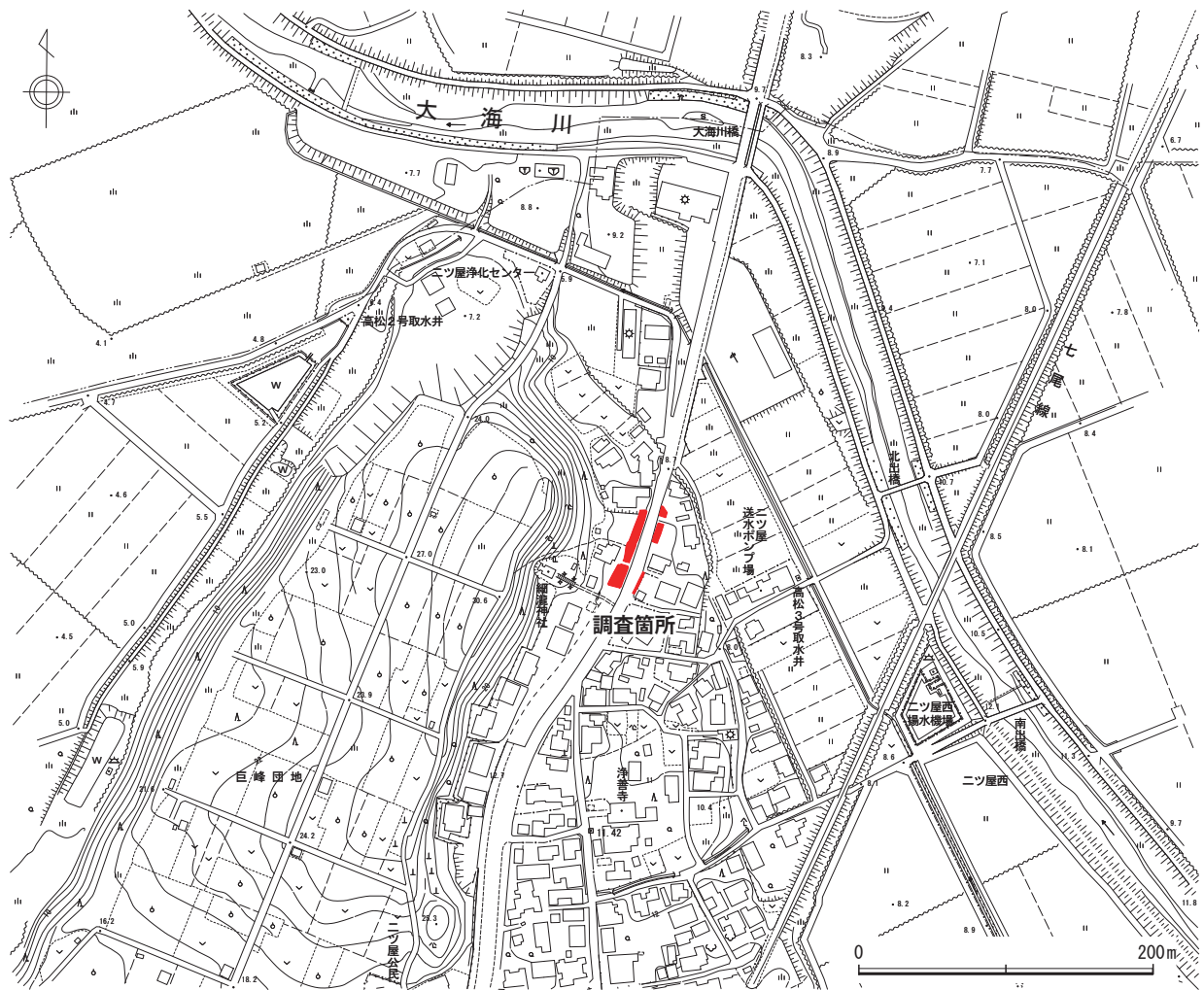
出土品整理・報告書刊行は埋文センター調査部が担当した。平成27年度に出土品の記名・分類・接合、復元、実測・トレース、遺構図のトレースを行い、平成28年度に原稿作成、報告書編集・刊行を実施した。



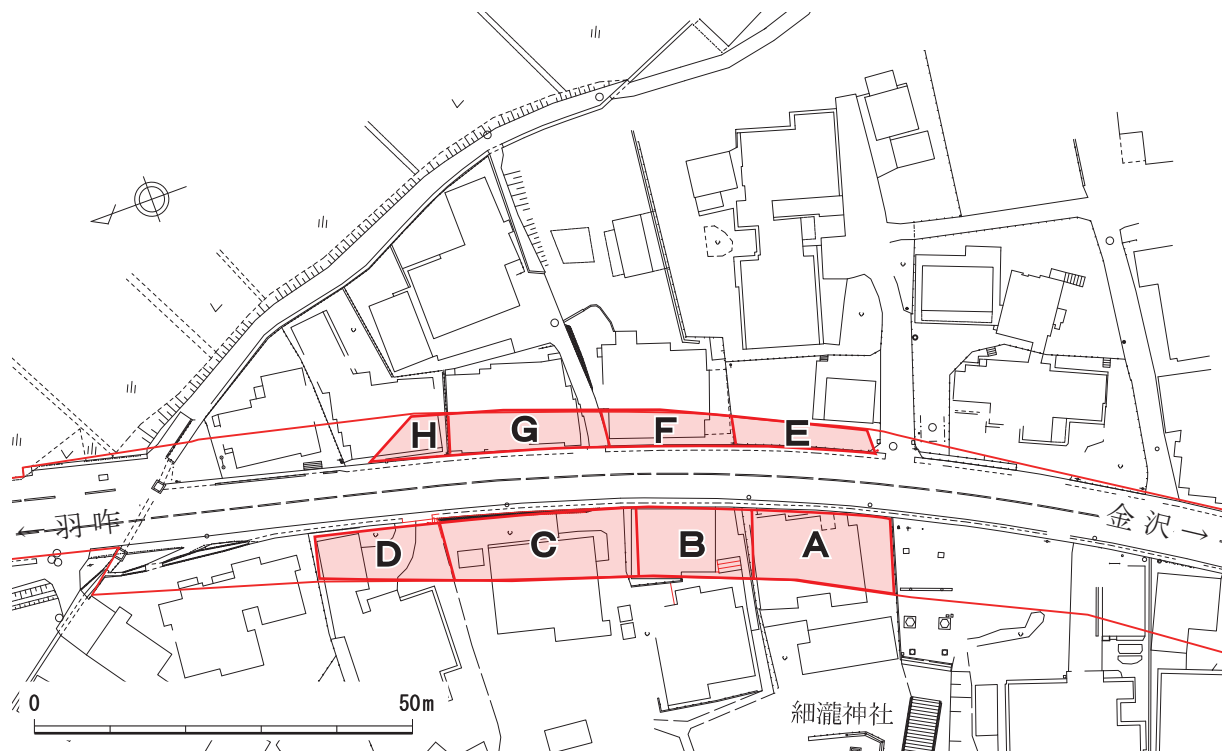
調査風景

第1表 調査体制

年 度	平成26年度（発掘調査）	平成27年度（出土品整理）
調査主体	(公財)石川県埋蔵文化財センター 理事長 木下 公司	(公財)石川県埋蔵文化財センター 理事長 木下 公司
総 括	小崎 隆司（専務理事）	柴田 政秋（専務理事）
事 務	栗山 正文（事務局長）	釜親 利雄（事務局長）
総 務	山口 登（総務グループリーダー）	長嶋 誠（総務グループリーダー）
調 査	福島 正実（所長）	福島 正実（所長）
	藤田 邦雄（調査部長）	藤田 邦雄（調査部長）
	松山 和彦（県関係調査グループリーダー）	松山 和彦（県関係調査グループリーダー）
担 当	澤辺 利明（県関係調査グループ主幹）	県関係調査グループ
	瀧野 勝利（県関係調査グループ専門員）	
	武部 修一（県関係調査グループ専門員）	



第1図 調査箇所位置図(縮尺 1/5,000)



第2図 工事範囲と調査箇所(縮尺 1/1,000)

## 第2章 遺跡の位置と環境

細滝神社遺跡が所在するかほく市は、能登半島の付け根に位置を占めている。東に宝達山丘陵が連なり、西は日本海に接している。平成16年（2004）、河北郡高松町・七塚町・宇ノ気町が合併して発足したもので、北は羽咋郡宝達志水町、南は河北郡津幡町・内灘町に接している。

本遺跡は内灘砂丘の北端部に立地しており、標高は10m前後を測る。内灘砂丘は、大野川河口から大海川河口まで連なる海岸砂丘で、延長約20kmに及んでいる。本遺跡付近は古期砂丘（内列砂丘・中列砂丘）と新期砂丘（外列砂丘）で構成されており、両期の砂丘の間に黒色あるいは泥炭質の砂層が形成されている。この砂層には縄文時代から弥生時代にかけての遺構・遺物が確認されており、本遺跡もそのひとつである（鮎野義夫「加賀平野」『アーバンクボタ No.31 北陸の丘陵と平野』株式会社クボタ 1992）。本遺跡の北では大海川が蛇行しながら西北に流下しており、河口付近で前田川と合流して日本海に注いでいる。大海川と前田川の間は低位の沖積地となっており、内灘砂丘の北を限るとともに、加賀・能登の境にもなっている。この沖積地は縄文時代前期末までに形成された「大海潟」の残存地形で、この潟の周辺に縄文時代以降遺跡が形成されている（『石川県高松町史』高松町 1974）。

まず縄文時代の遺跡を見ると、前述の砂丘に営まれた中沼A遺跡・二ツ屋B遺跡があり、いずれも石器が発見されているが、時期は明らかではない。同じ環境で形成された遺跡に弥生時代の中沼C遺跡がある（『高松町中沼C遺跡』高松町教育委員会 1987）。弥生時代後期から古墳時代後期にかけて営まれた集落および墓地で、竪穴建物3基、方形周溝墓3基、円形周溝墓2基が検出されており、第2号方形周溝墓の埋葬施設から100点を超えるガラス製小玉が出ている。また、周溝からは多くの弥生土器が出ており、土器祭祀が行われたと考えられる。

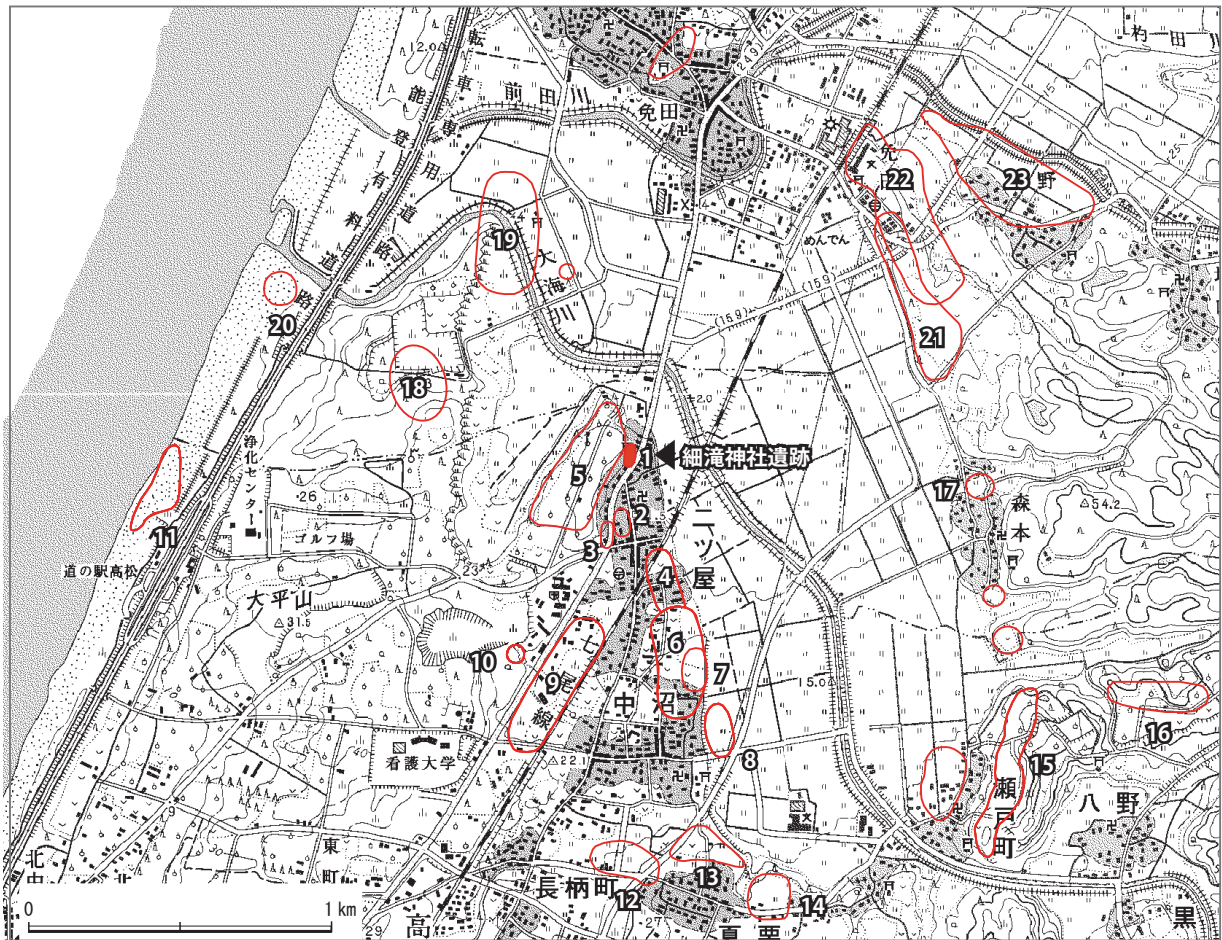
古墳時代では、「大海潟」の南に横穴式石室を内蔵する二ツ屋古墳群が確認されている。須恵器提瓶・横瓶・高坏、馬具などが発見されており、6世紀後半の築造と見られる。北には冬野大塚古墳を含む冬野古墳群がある。冬野大塚古墳は径約40mを測る中期の円墳で、墳頂部に埴輪をもつ。大海川河口では2体の須恵質人物埴輪が採集されている。明治24年（1891）に「羽咋郡北大海村北川尻地内」で採集されたもので、1体は「騎馬の人物」、もう1体は「手を合わせる女子」である。小松市矢田野エジリ古墳出土埴輪に近似しており、同市二ツ屋梨殿様池窯跡群で焼成された可能性が高い。集落遺跡では、古墳時代前期の土師器が出土した二ツ屋遺跡が知られている。「二ツ屋式土器」として土師器研究の標識となっており、石川県の考古学史にその名が刻まれている（吉岡康暢・浜岡賢太郎「加賀・能登の古式土師器」『古代学研究 32』古代学研究会 1962）。

古墳時代では、「大海潟」の南に横穴式石室を内蔵する二ツ屋古墳群が確認されている。須恵器提瓶・横瓶・高坏、馬具などが発見されており、6世紀後半の築造と見られる。北には冬野大塚古墳を含む冬野古墳群がある。冬野大塚古墳は径約40mを測る中期の円墳で、墳頂部に埴輪をもつ。大海川河口では2体の須恵質人物埴輪が採集されている。明治24年（1891）に「羽咋郡北大海村北川尻地内」で採集されたもので、1体は「騎馬の人物」、もう1体は「手を合わせる女子」である。小松市矢田野エジリ古墳出土埴輪に近似しており、同市二ツ屋梨殿様池窯跡群で焼成された可能性が高い。集落遺跡では、古墳時代前期の土師器が出土した二ツ屋遺跡が知られている。「二ツ屋式土器」として土師器研究の標識となっており、石川県の考古学史にその名が刻まれている（吉岡康暢・浜岡賢太郎「加賀・能登の古式土師器」『古代学研究 32』古代学研究会 1962）。

東部丘陵には須恵器生産を行った高松・押水窯跡群が存在する。八野ウワノ窯跡群はこの一角にあり、奈良時代の窯が5基発掘されている。高松・押水窯跡群は羽咋郡の基幹的な窯場であるが、加賀郡にも供給しており、7世紀前半に操業を開始し、9世紀前半に盛期を迎えている。



第3図 遺跡の位置



第4図 細滝神社遺跡と周辺の遺跡 (縮尺 1/25,000)

第2表 遺跡地名表

番号	遺跡名	所在地	立地	種別	時代	参考事項
1	細滝神社遺跡	かほく市二ツ屋	砂丘	集落跡	弥生	
2	二ツ屋遺跡	かほく市二ツ屋	砂丘	散布地	古墳	
3	二ツ屋古墳群	かほく市二ツ屋	砂丘	古墳	古墳	2基
4	二ツ屋D遺跡	かほく市二ツ屋	砂丘	散布地	古墳～平安	
5	二ツ屋しつとがらん遺跡	かほく市二ツ屋	砂丘	散布地	縄文・古代・中世	
6	中沼D遺跡	かほく市中沼	砂丘	散布地	古墳～平安	
7	中沼きりやま古墳群	かほく市中沼	砂丘	古墳	古墳	円墳2基 (消失)
8	中沼ヤシキダ遺跡	かほく市中沼	砂丘	散布地	古代～近世	
9	中沼A遺跡	かほく市中沼	砂丘	散布地	縄文・平安	
10	中沼C遺跡	かほく市中沼	砂丘	集落跡・墳墓	縄文～古代	方形周溝墓、円形周溝墓
11	二ツ屋B遺跡	かほく市二ツ屋	砂丘	散布地	縄文・弥生・古代	
12	長柄マエダ遺跡	かほく市長柄	平地	散布地	平安	
13	長柄遺跡	かほく市長柄	平地	散布地	奈良・平安	
14	夏栗ミヤノ遺跡	かほく市夏栗	丘陵	散布地	古墳	
15	瀬戸コノウエ遺跡	かほく市瀬戸	丘陵	散布地	古墳～平安	窯跡も存在か
16	八野ウワノ窯跡群	かほく市八野	丘陵	窯跡	古墳・古代	須恵器窯5基
17	森本C遺跡	羽咋郡宝達志水町森本	丘陵	集落	弥生～平安	木簡・墨書土器・人面墨書土器など
18	免田中屋敷遺跡	羽咋郡宝達志水町免田	砂丘	散布地	古墳	
19	免田大海川床遺跡	羽咋郡宝達志水町免田	砂丘	散布地	古墳	
20	大海川口遺跡	羽咋郡宝達志水町免田	砂丘	散布地	縄文	
21	冬野古墳群	羽咋郡宝達志水町冬野	丘陵	古墳	古墳	円墳3基、方墳3基
22	免田一本松遺跡	羽咋郡宝達志水町免田	丘陵	集落跡	古墳	
23	冬野遺跡	羽咋郡宝達志水町冬野	丘陵	集落跡	縄文～古墳	



### 第3章 遺構と遺物

調査区は国道の西側をA～D区、東側をE～H区と呼称した。いずれの調査区も砂層が厚く堆積しており、最も厚い箇所では1.5mを測る。遺構は調査区南半部のA・B区に多く、弥生時代後期後半の竪穴建物1基のほか土坑、溝、小穴を検出した。北半部は後世の削平等により包含層は遺存していなかった。土層を見ると、A区西壁では建物跡地のため包含層の遺存は少ない。B区では弥生時代の包含層上に細砂層が約120cm堆積している。C区はベースまで20～30cmと浅い。D区西壁はベースまで盛土のみである。E区はベースまで約150cmである。F区西壁は上部に建物基礎のコンクリートがあり、ベースまで約100cmを測る。遺構・包含層とも土器の主体は弥生時代後期後半の法仏式期である。

**SI01** 南北の長さ700cmの土坑で、東西の長さは現状で380cm確認できる。深さは北で53cm、南で59cmである。不整であるが方形の平面を呈するものとなろう。底面は平坦で、西壁に沿ってL字の溝があることから竪穴建物の可能性がある。覆土は淡褐色細砂で、土器・石器等を包含している。底には締まりのある淡黄褐色細砂が均一に存在する。出土遺物には弥生土器のほか、石鏃、勾玉がある。1～4は壺で、3は内面頸部と外面に赤彩が見られる。4は無頸壺で高さ5.9cmである。5～13は有段口縁の甕である。14は台付甕、15は甕の底部で外底に「ヘラ描き」が見られる。18は内外面に赤彩がある鉢、19は台付椀で、いずれも内外面に丁寧なミガキを施している。20・21は高坏で、21の外面には赤彩が見える。22は器台、23は小型丸底壺とともに月影式期以降であろう。弥生土器は後期後半の所産で、特記したもの以外は法仏式期である。24は石鏃、25は勾玉で長さ1.5cmを測る。

**SI02** SI01の北にある大型土坑で、二段になっている。東の一辺が確認でき、350cmを測る。深さは南で36cm、北で27cmを測る。出土遺物はいずれも弥生土器で法仏式期であろう。26は直口壺で、波状口縁をもち口頸部に弧線を5～6条描いている。27は有段口縁の甕、28は高坏である。

**SK01** SI02の北にある不整楕円形の土坑である。140cm×104cm、深さ10cmで、底から完形の甕29が出ている。有段口縁で、口径16.9cm、高さ23.2cmを測る。

**SK02** 不整な楕円形土坑で、180×96cm、深さ30cmである。遺物はない。

**SK03** 円形土坑で、長さ96cm、深さ17cm。31の有段口縁甕が出ている。

**SD01** 北東-南西に走行する溝で、幅48cmである。遺物はない。

**P01** 長径120cm、深さ23cmで遺物はない。

**SX01** A区の南端で確認された不整な土坑で、東西320cm、深さ30cmである。弥生時代後期の甕32、器台33が出ている。33は外面に赤彩がある。

**SX02** G区で検出した不整な土坑で、長さ400cm、幅210cm、深さ15cmを測る。34は縄文時代の深鉢で外底に網代痕が見える。35～37は壺、38は高坏、39は鉢である。

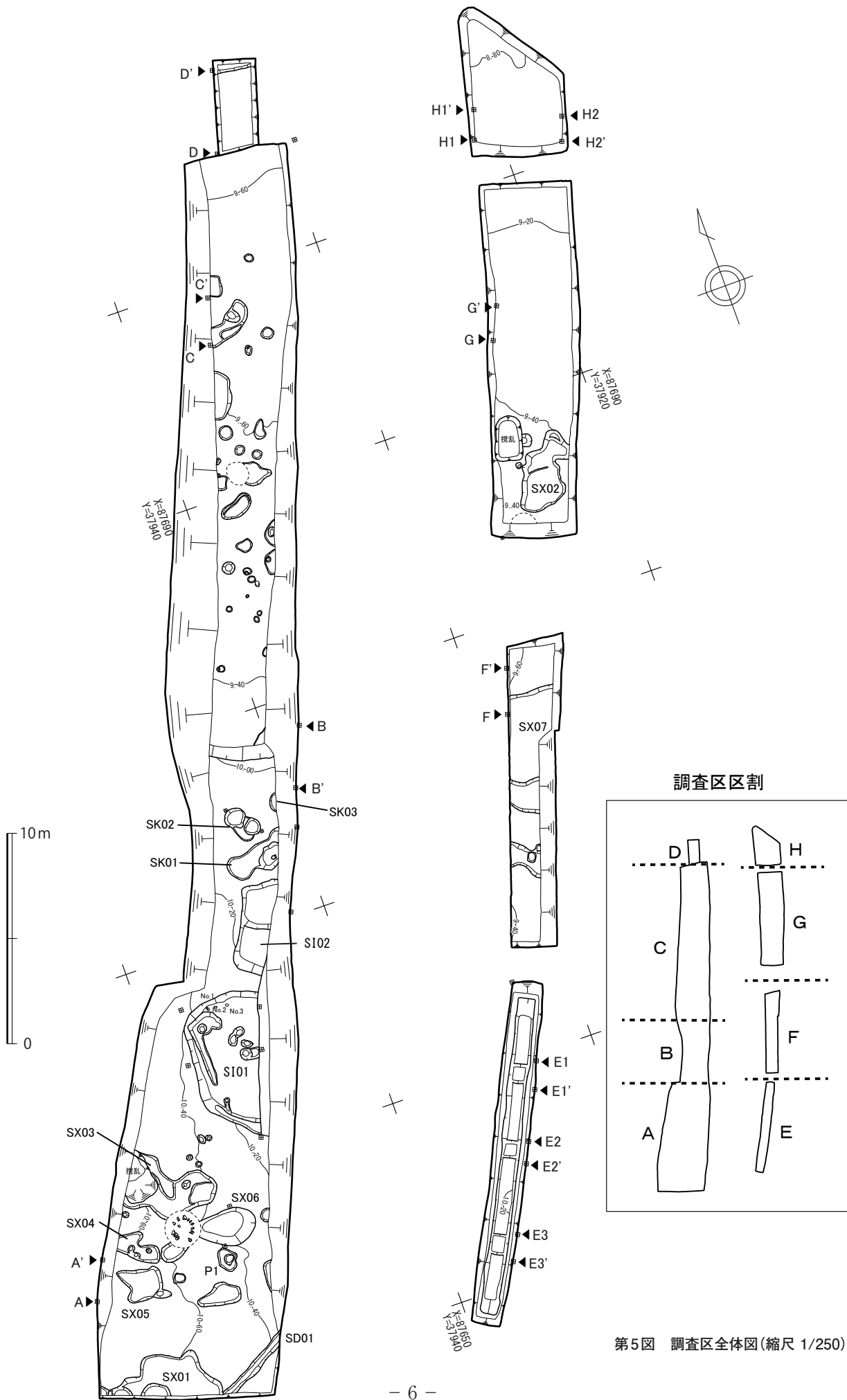
**SX03** A区で検出した土坑で、不整である。長さ430cm、幅174cm、深さ16cmを測る。本土坑周辺には数基の土坑が集まっている。40は直口壺、42～44は甕である。

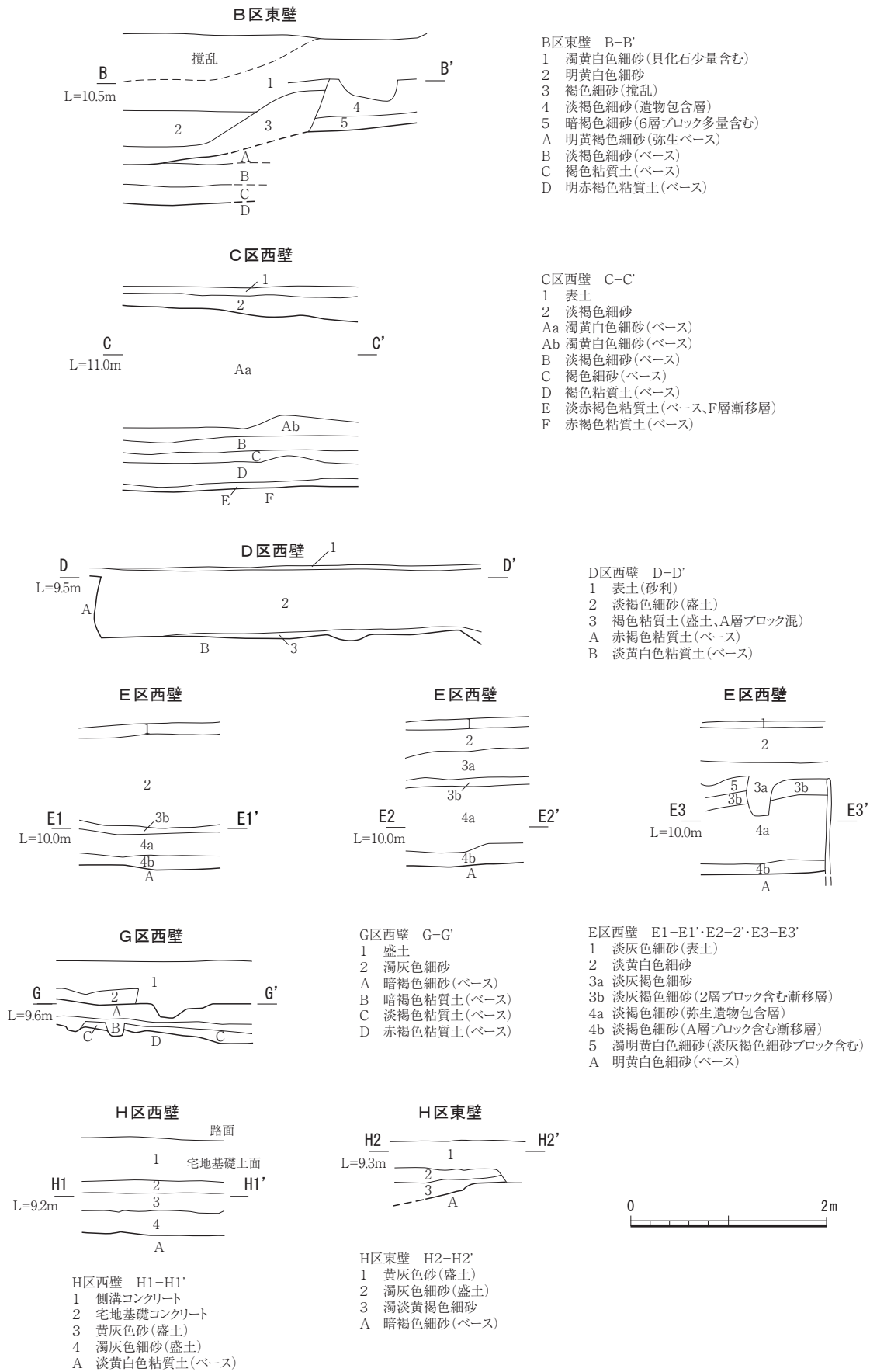
**SX04** A区で検出した小型の土坑で、長さ210cm、深さ15cmである。45の有段口縁甕が出ている。

**SX05** A区で検出した土坑で、長さ200cm、深さ10cmである。46の有段口縁甕が出ている。

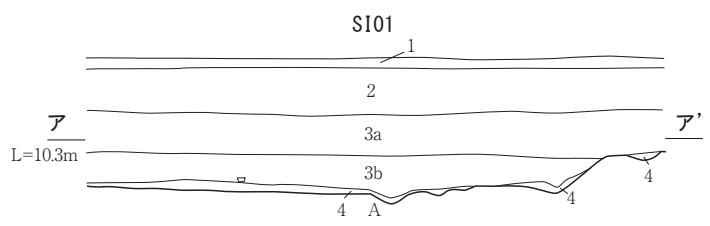
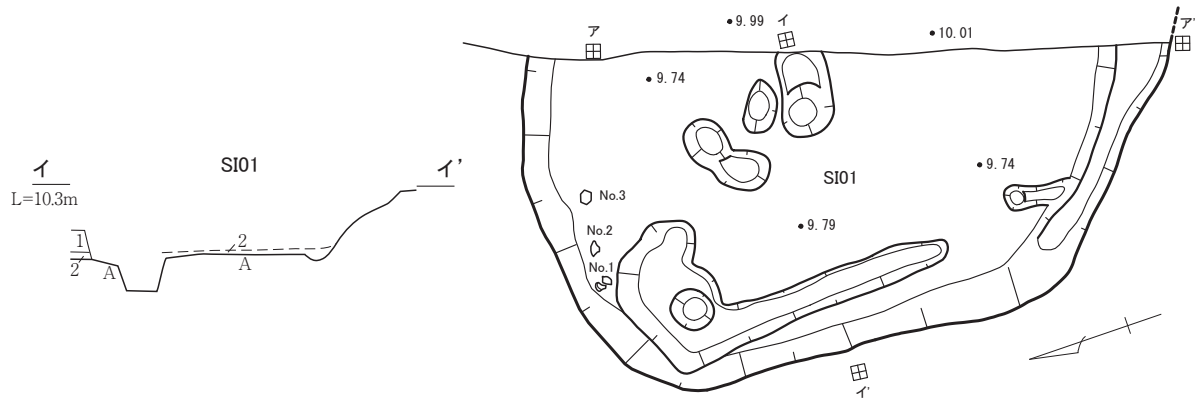
**SX06** A区で検出した土坑で、長さ260cm、幅160cm、深さ64cmである。出土遺物に47の球状耳飾がある。側縁部の幅1.9cm、中央孔の径0.7cm、厚さ0.6cmで、側縁部の幅が大きく中央孔が小さい形状である。縄文時代前期中葉から中期初頭の所産と見られる。

**SX07** F区で検出した土坑で、南北176cm、深さ17cmである。遺物はない。

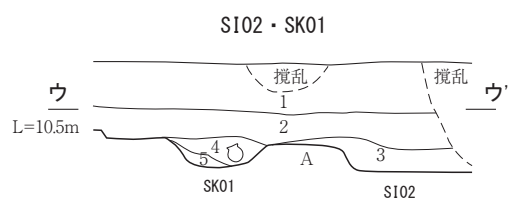
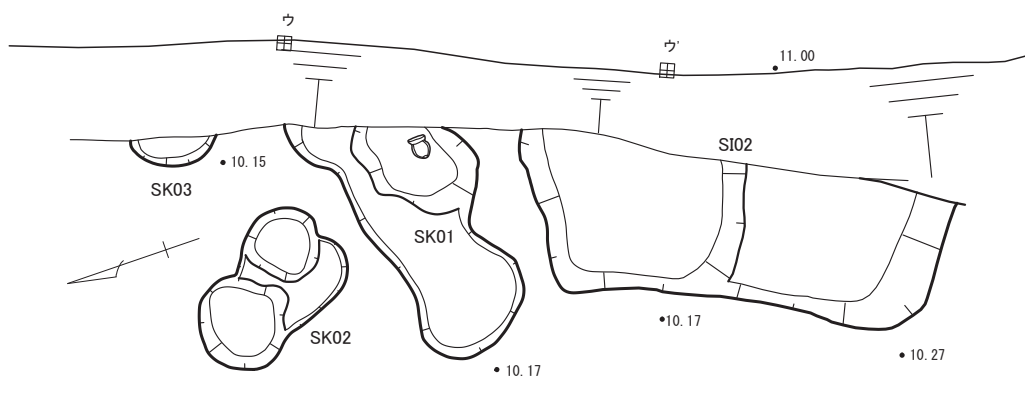




第6図 土層図(縮尺 1/60)



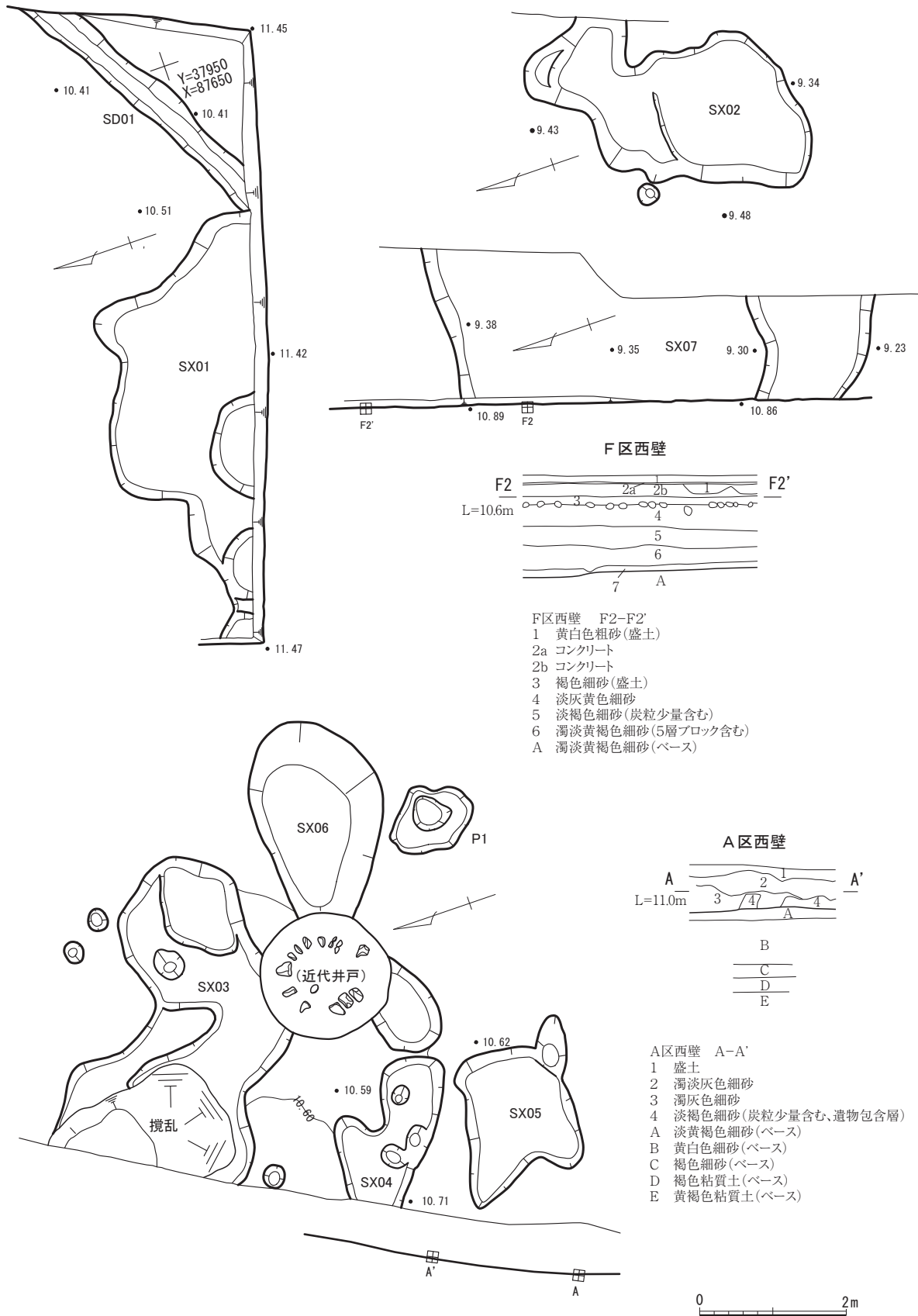
- SI01 ア-ア'
- 1 盛土
  - 2 濁灰色細砂
  - 3a 淡褐色細砂(炭粒少量含む、遺物包含層)
  - 3b 淡褐色細砂(炭粒多量含む、遺物包含層)
  - 4 淡黄褐色細砂(3b層ブロック含む)
  - A 淡黄褐色細砂(ベース)



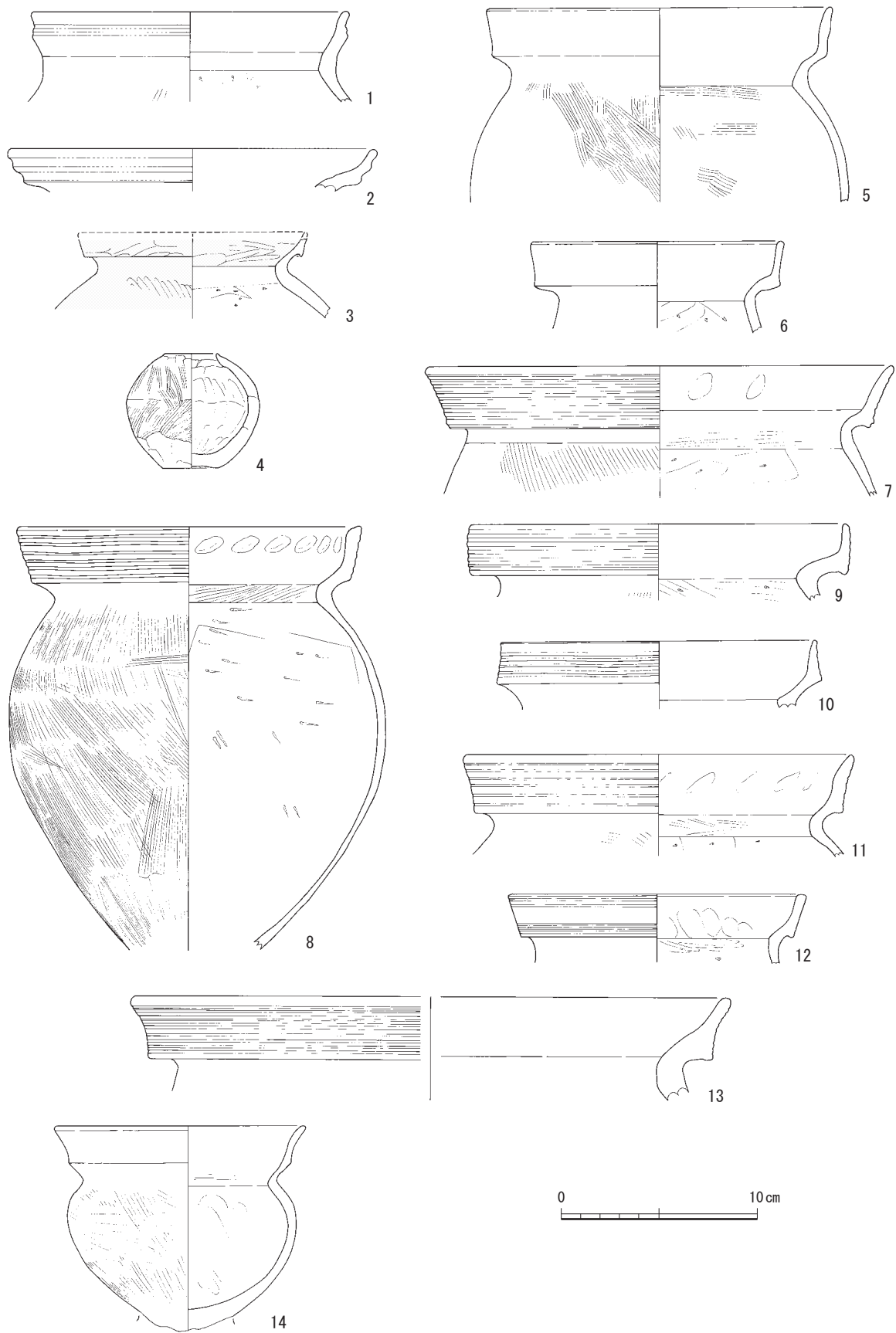
- SI02-SK01 ウ-ウ'
- 1 濁黄白色細砂層(貝化石少量含む)
  - 2 淡褐色細砂(遺物包含層)
  - 3 淡黄灰色細砂(SI2覆土)
  - 4 淡灰褐色細砂(SK1覆土)
  - 5 黄灰色細砂(SK1覆土)
  - A 明黄褐色細砂(ベース)



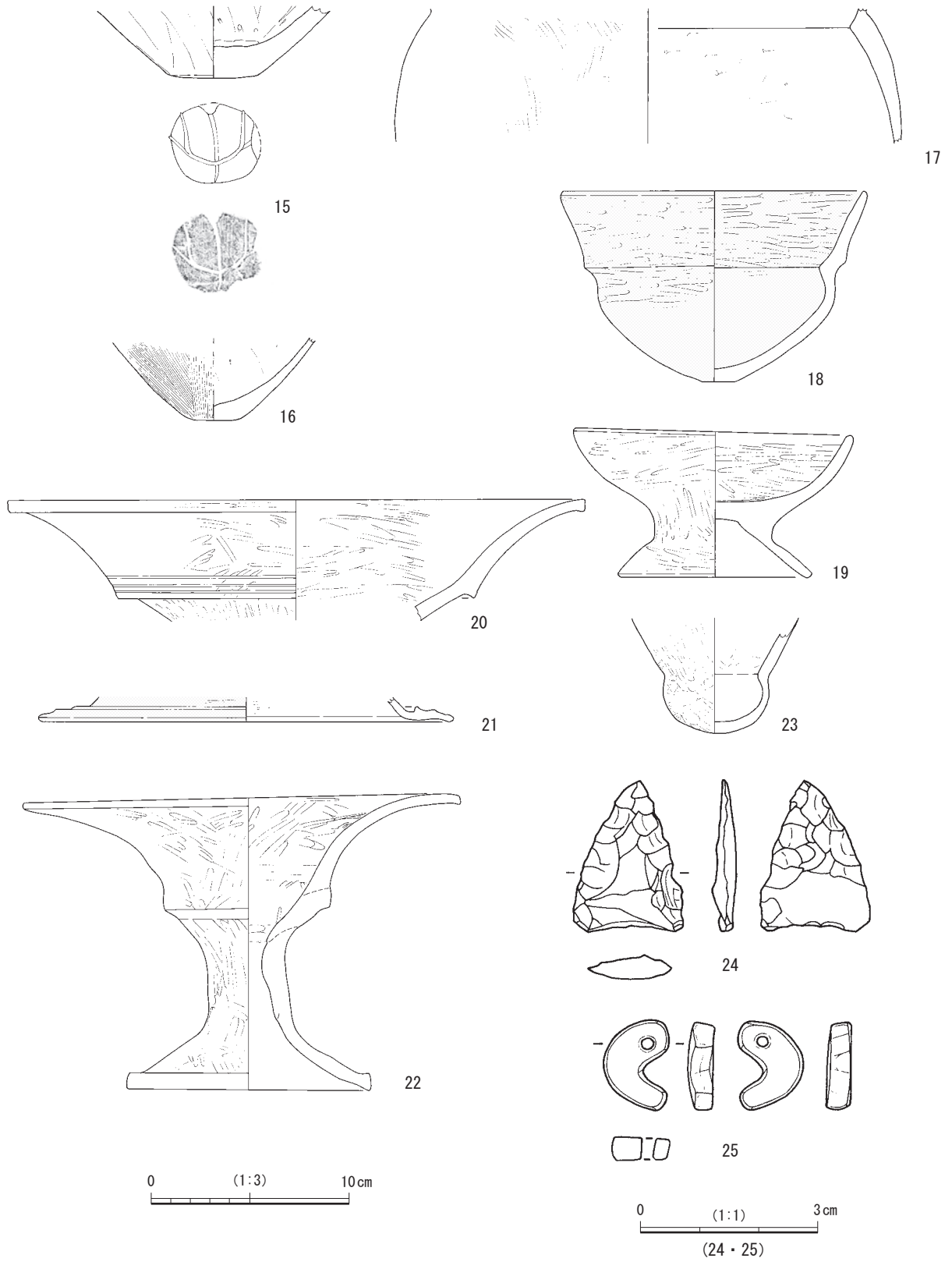
第7図 遺構実測図1 (縮尺 1/80)



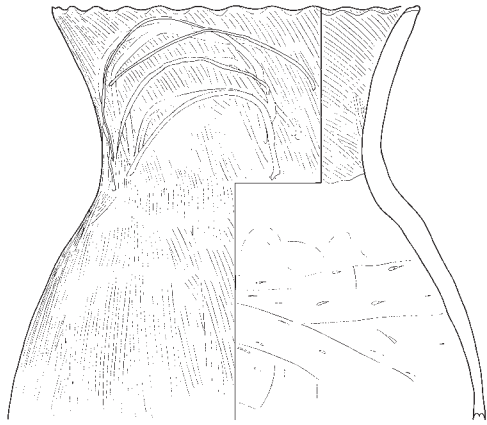
第8図 遺構実測図2(縮尺 1/80)



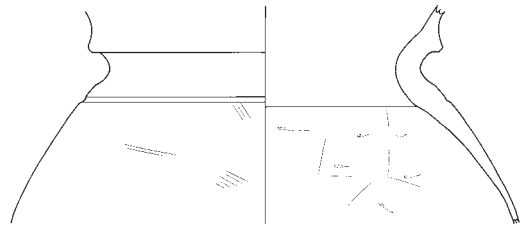
第9図 出土遺物実測図1(縮尺 1/3)



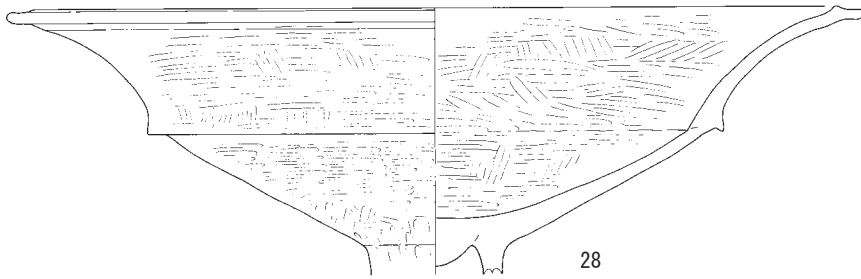
第10図 出土遺物実測図2(縮尺 1/1・1/3)



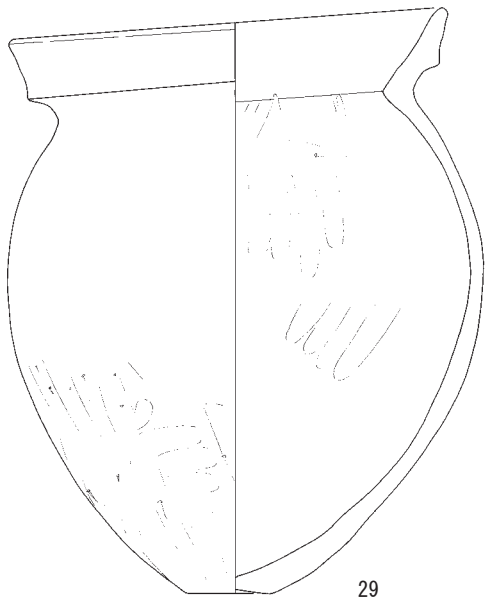
26



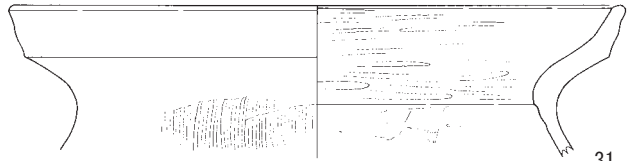
27



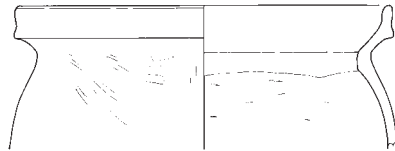
28



29



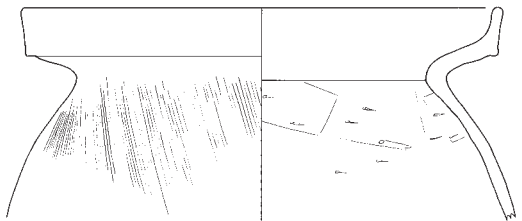
31



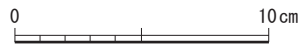
32



33

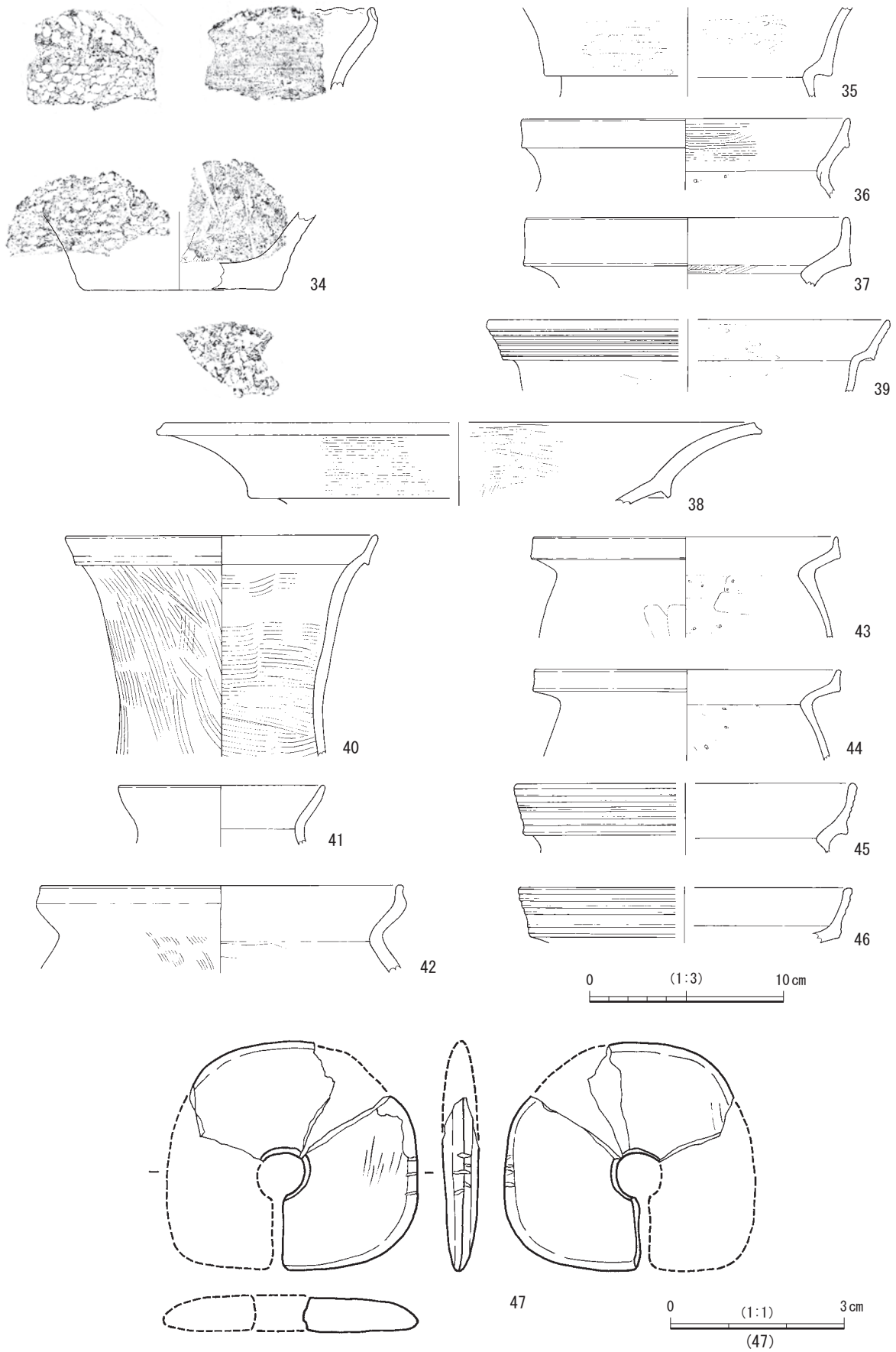


30

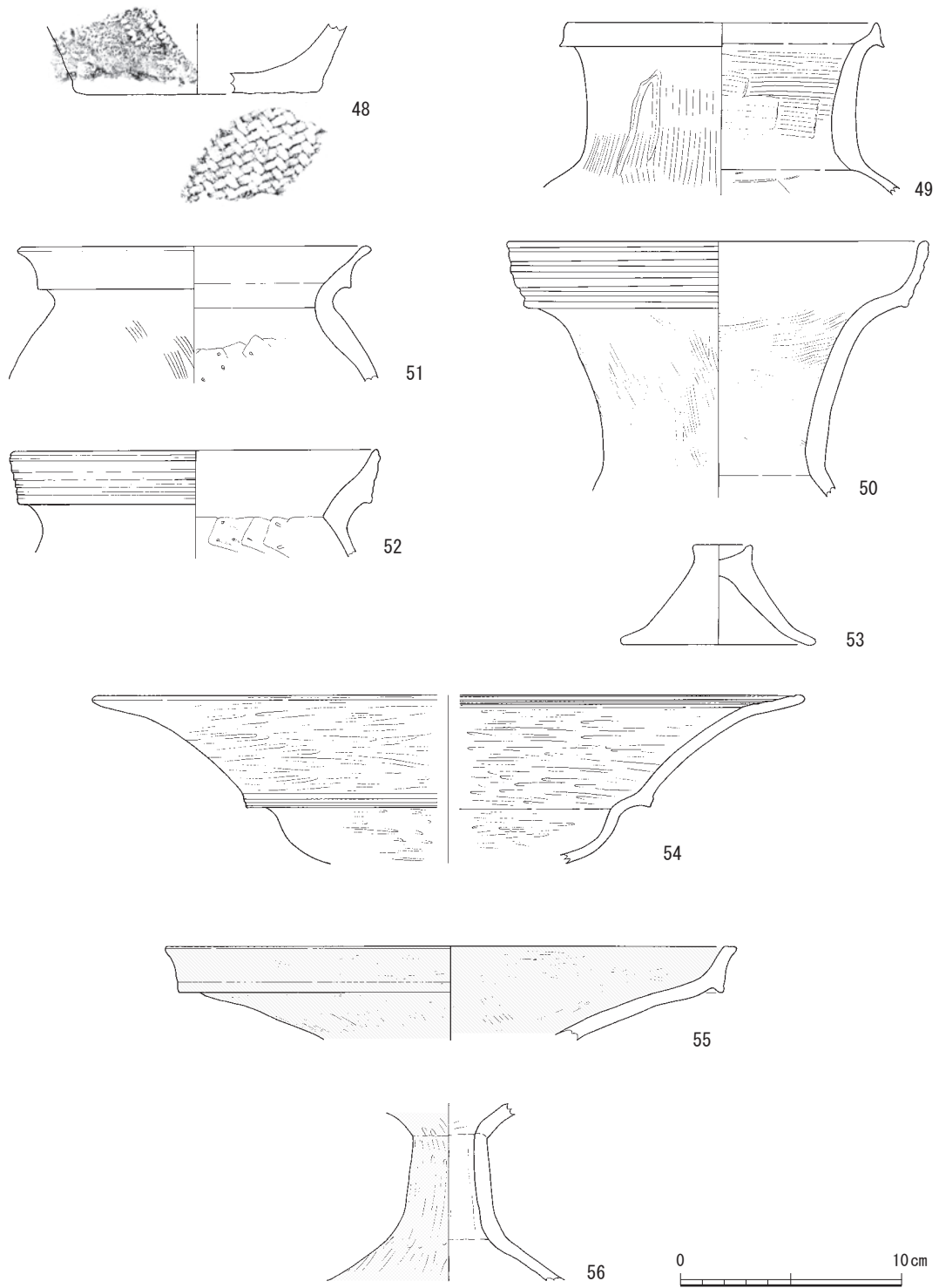


第11図 出土遺物実測図3 (縮尺 1/3)





第12図 出土遺物実測図4(縮尺 1/1・1/3)



第13図 出土遺物実測図5 (縮尺 1/3)

第3表 遺物観察表

報告番号	出土地点	種別	器種	口径	底径	器高	色調		胎土	調整		実測番号	備考
							内面	外面		内面	外面		
1	SI01	弥生土器	壺	16.0			鈍黄橙色	鈍黄橙色	礫少、粗砂少	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C14	上部出土、外面ス
2	SI01	弥生土器	壺	18.6			鈍橙色	鈍橙色	礫少、粗砂並	ヨコナデ	ヨコナデ	C9	上部出土
3	SI01	弥生土器	壺			(4.0)	黄橙色	赤色	粗砂多	ミガキ、ナデ、ケズリ	ミガキ、ヨコナデ	C7	上部出土
4	SI01	弥生土器	無頸壺	2.7	2.8	5.9	鈍橙色	鈍橙色	粗砂並	ナデ	ハケ、ナデ	C19	上部出土
5	SI01	弥生土器	甕	17.6			鈍橙色	鈍橙色	礫並、粗砂並	ヨコナデ、ハケ	ヨコナデ、ハケ	C20	
6	SI01	弥生土器	甕	12.7			浅黄橙色	浅黄橙色	粗砂多	ヨコナデ、ケズリのちナデ		C2	北壁No2、外面ス
7	SI01	弥生土器	甕	23.8			鈍黄橙色	浅黄色	礫少、粗砂多	ナデ、ハケ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C16	下部出土
8	SI01	弥生土器	甕	17.2		(21.7)	暗灰黄色	暗灰黄色	礫少、粗砂多	ヨコナデ、ハケ、ケズリのちナデ	ナデ、ハケ	C1	北壁No3、外面ス
9	SI01	弥生土器	甕	19.0			橙色	橙色	赤色粒、海綿骨針	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C17	下部出土
10	SI01	弥生土器	甕	15.9			鈍橙色	鈍黄橙色	粗砂並	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ	C21	
11	SI01	弥生土器	甕	19.7			暗灰黄色	褐灰色	礫少、粗砂並	ヨコナデ、ハケ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C13	上部出土、外面ス
12	SI01	弥生土器	甕	15.0			浅黄橙色	浅黄橙色	粗砂多	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ	C11	上部出土、外面ス
13	SI01	弥生土器	甕	(30.0)			鈍黄橙色	鈍黄橙色	礫並、粗砂並	ヨコナデ、ナデ?	ヨコナデ	C10	上部出土
14	SI01	弥生土器	台付甕	12.7		(10.5)	鈍橙色	鈍黄褐色	赤色粒、海綿骨針	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ、ハケ	C3	北壁No1、外面ス
15	SI01	弥生土器	甕		4.5		鈍黄橙色	鈍黄褐色	礫並、粗砂並	ケズリ	ナデ	C18	下部出土、外面黒斑
16	SI01	弥生土器	甕			(4.2)	鈍黄橙色	鈍黄褐色	礫並、粗砂並	ケズリ、ナデ	ハケ、ナデ	C52	
17	SI01	弥生土器	甕			(6.8)	鈍黄褐色	鈍黄褐色	礫多、粗砂多	ヨコナデ、ケズリ	ハケのちナデ	C15	上部出土
18	SI01	弥生土器	鉢	15.2	1.6	9.7	鈍赤褐色	鈍赤褐色	粗砂並、海綿骨針	ミガキ	ミガキ	C5	外面ス
19	SI01	弥生土器	台付椀	13.9	9.3	7.5	鈍黄褐色	鈍黄褐色	礫少、粗砂多	ミガキ	ミガキ	C6	
20	SI01	弥生土器	高坏	24.3			浅黄橙色	黄橙色	粗砂多	ミガキ	ミガキ	C8	上部出土
21	SI01	弥生土器	高坏		21.0		鈍黄褐色	明赤褐色	礫少、粗砂少	ヨコナデ、ミガキ	ヨコナデ、ミガキ	C22	下部出土
22	SI01	弥生土器	器台	22.0	12.3	15.1	明赤褐色	鈍黄褐色	粗砂多	ミガキ、ナデ	ヨコナデ、ミガキ、ナデ	C4	内面一部ス
23	SI01	弥生土器	埴			(4.9)	暗灰褐色	橙色	礫少、粗砂少	ミガキ、ナデ	ミガキ、ナデ	C12	上部出土
24	SI01	石器	石鎌	長さ2.5	幅1.8	厚さ0.4						石2	上部出土、重さ1.69g
25	SI01	石製品	勾玉	長さ1.5	幅1.1	厚さ0.4						石1	重さ1.07g
26	SI02	弥生土器	壺	14.5		(16.4)	鈍黄褐色	鈍黄褐色	礫多、粗砂多	ハケ、ナデ、ケズリ	ハケ	C42	
27	SI02	弥生土器	甕			(8.6)	暗灰黄色	鈍黄褐色	礫少、粗砂多	ヨコナデ、ナデ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C51	床面直上、外面ス
28	SI02	弥生土器	高坏	34.0		(10.6)	鈍黄褐色	鈍黄褐色	礫少、粗砂並	ヨコナデ、ミガキ	ミガキ、ハケ	C43	
29	SK01	弥生土器	甕	16.9	3.3	23.2	黄褐色	浅黄褐色	粗砂多、雲母	ヨコナデ、ケズリ、ナデ	ヨコナデ、ナデ、ケズリ	C41	外面ス
30	SK01	弥生土器	甕	18.8			橙色	橙色	礫多、粗砂多	ナデ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C53	外面ス
31	SK03	弥生土器	壺	24.0			橙色	鈍橙色	粗砂多、赤色粒少	ハケのちミガキ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C40	
32	SX01	弥生土器	甕	14.6			鈍黄褐色	鈍赤褐色	粗砂少、海綿骨針	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C24	内面黒斑
33	SX01	弥生土器	器台	25.8			鈍黄褐色	鈍黄褐色	礫並、粗砂多	ミガキのち一部ナデ	ミガキのち一部ナデ	C23	内面黒斑
34	SX02	縄文土器	深鉢		10.0		鈍黄褐色	鈍黄褐色	粗砂多、細砂並	ナデ	キザミ	C50	外面ス
35	SX02	弥生土器	壺			(4.6)	鈍黄褐色	鈍黄褐色	粗砂並	ミガキのちナデ	ミガキのちナデ	C39	
36	SX02	弥生土器	壺	16.9			橙色	鈍橙色	礫並、粗砂並	ヨコナデ、ハケ、ケズリ	ヨコナデ	C37	
37	SX02	弥生土器	甕	16.5			鈍橙色	鈍橙色	礫並、粗砂並	ヨコナデ、ハケ、ケズリ	ヨコナデ	C36	
38	SX02	弥生土器	高坏	(30.6)			浅黄色	浅黄色	粗砂多、細砂少	ミガキ		C38	
39	SX02	弥生土器	鉢	(20.8)			橙色	鈍橙色	粗砂並	ミガキ	ミガキ	C35	
40	SX03	弥生土器	壺	16.0			鈍橙色	鈍橙色	礫並、粗砂並	ヨコナデ、ハケ	ヨコナデ、ハケ	C26	
41	SX03	弥生土器	壺	10.6			橙色	橙色	海綿骨針	ヨコナデ、ナデ	ヨコナデ	C27	外面黒斑
42	SX03	弥生土器	甕	18.5			褐灰色	黒褐色	粗砂並	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C29	
43	SX03	弥生土器	甕	15.6			鈍橙色	鈍橙色	礫並、粗砂並	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ、ナデ	C28	外面ス
44	SX03	弥生土器	甕	15.7			鈍橙色	鈍黄褐色	礫並、粗砂並	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ、ナデ	C30	
45	SX04	弥生土器	甕	(17.4)			黒色	鈍黄褐色	粗砂並	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ	C31	
46	SX05	弥生土器	甕	(17.1)			鈍橙色	灰黄褐色	礫少、粗砂並	ヨコナデ	ヨコナデ	C32	外面ス
47	SX06	石製品	球状耳飾	縦3.9	横4.4	厚さ0.6						石3	1/3欠失
48	包含層	縄文土器	深鉢		11.0		浅黄色	鈍黄色	礫多、粗砂並	ナデ	ナデ	C49	外底網代痕
49	包含層	弥生土器	壺	14.0			橙色	橙色	礫並、粗砂多	ヨコナデ、ハケ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ	C48	
50	包含層	弥生土器	壺	18.9			浅黄色	浅黄色	礫並、粗砂並	ヨコナデ、ハケのちナデ	ハケのちナデ	C44	
51	包含層	弥生土器	甕	15.5			鈍黄褐色	浅黄褐色	礫並、粗砂多	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ、ハケ、ナデ	C34	外面ス
52	包含層	弥生土器	甕	16.5			浅黄褐色	黒色	礫少、粗砂並	ヨコナデ、ケズリ	ヨコナデ	C33	
53	包含層	弥生土器	蓋	8.5		4.6	鈍黄褐色	鈍黄褐色	礫微、粗砂多	ナデ、ヨコナデ	ナデ、ハケのちナデ	C45	
54	包含層	弥生土器	高坏	(32.0)			明赤褐色	橙色	礫少、粗砂多	ミガキ	ミガキ	C47	
55	包含層	弥生土器	高坏	26.6			橙色	橙色	礫少、粗砂並	ヨコナデのちミガキ、ミガキ	ヨコナデ、ミガキ	C46	
56	包含層	弥生土器	器台			(8.1)	鈍黄褐色	赤色	礫少、粗砂並	ミガキ、ナデ	ミガキ	C54	外面赤彩





上空から見た調査箇所（南西から）



同 上（北東から）



調査箇所全景（南から）



A区完掘状況（北から）



B・C区完掘状況（北から）



E区完掘状況（北から）



F区完掘状況（南から）



G区完掘状況（南から）



H区完掘状況（南から）



調査風景（南から）



C区西壁土層



竪穴状遺構 SI01（南東から）



SI02・SK01・SK02 (西から)



P01・SX01・SX03～SX06 (西から)







26



28



42



43



49



55



29



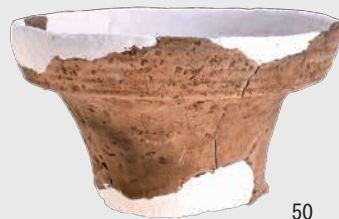
32



40



47



50



53



56

報告書抄録

ふりがな	かほくし ほそたきじんじゃいせき							
書名	かほく市 細滝神社遺跡							
副書名	一般国道 159 号二ツ屋北自転車歩行者道整備事業に係る埋蔵文化財発掘調査報告書							
巻次								
シリーズ名								
シリーズ番号								
編著者名	三浦純夫							
編集機関	公益財団法人石川県埋蔵文化財センター							
所在地	〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地1 TEL(076)229-4477 FAX(076)229-3731							
編集機関	石川県教育委員会・公益財団法人石川県埋蔵文化財センター							
発行年月日	2017年3月30日							
ふりがな 所収遺跡	ふりがな 所在地	コード		北緯	東経	発掘期間	発掘面積	発掘原因
		市町村	遺跡番号					
ほそたきじんじゃ 細滝神社遺跡	いしかわけん 石川県 かほく市 ふたつや 二ツ屋	17209	802000	36度 47分 22秒	136度 44分 30秒	20141007 ～ 20141203	950㎡	記録保存 調査
所収遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物		特記事項		
細滝神社遺跡	集落	弥生	竪穴状遺構、 土坑、溝	塊状耳飾、弥生土 器、勾玉				
要約	細滝神社遺跡は砂丘に営まれた集落で、弥生時代後期に盛期がある。竪穴状遺構、土坑、溝が確認され、竪穴状遺構から弥生時代後期後半の土器、勾玉などが出土している。							

かほく市 細滝神社遺跡

発行日 平成29(2017)年3月30日

発行者 石川県教育委員会  
〒920-8575 石川県金沢市鞍月1丁目1番地  
電話 076-225-1842(文化財課)  
公益財団法人石川県埋蔵文化財センター  
〒920-1336 石川県金沢市中戸町18番地1  
電話 076-229-4477  
E-mail address mail@ishikawa-maibun.or.jp

印刷 ソノダ印刷株式会社